

事務事業名		重症心身障害児通園事業		会計	一般会計		事業種別		政策	開始	19	終了	
H27担当課等名	子育て支援課		H27係等名	こども発達センターひまわり		H26係等名	こども発達センターひまわり						
基本計画上の位置づけ	政策	3	健やかに安心して暮らせるまちづくり										
	施策	34	障害者福祉の推進										
目的	対象(誰・何を)	1 重症心身障がい児とその保護者		対象指標	指標名及び単位			26年度数値					
	意図(どういう状態にするか)	健康状態に合わせた通園をし、個々の機能訓練や家庭外での活動・体験の場を広げ発達を支援する。			飯田下伊那の在宅重症心身障がい児数(人) 県資料(飯田下伊那地域の重症心身障がい児の状況)より			11					
	向上させたい上位施策の成果指標	ひまわり重症心身障がい児登録児数(人)											
目標	種別	指標名及び単位		26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)					
	成果指標	通園して訓練を受けた障がい児の数(在籍児数)／飯田下伊那の在宅重症心身障がい児数 (%)		67	81	67	71						
	定性目標												
事業概要	<p>1 身近なところで、家庭外の日中活動やリハビリの場が得られるようにする。</p> <p>2 できる限り、重症心身障がい児や保護者が希望する日に、通所ができるような体制を整える。</p> <p>3 生活リズム作り、摂食、散歩、感覚遊び等、体験や生活全体が豊かになるよう、多様なメニューを準備し提供する。</p> <p>4 重症心身障がい児通園事業内容を地域に広く伝えるとともに、関連機関と密接に連携し必要な支援をつなげる。</p>												
26年度事業内容	事業内容				名称			活動指標					
	<p>1 重症心身障がい児通園事業</p> <p>① 訓練</p> <p>② 遊びを通じた楽しみづくり</p> <p>③ 食べることの楽しみづくり</p> <p>④ 健康管理</p> <p>⑤ 療育相談</p> <p>⑥ 訪問支援</p>				<p>1 登録者数</p> <p>2 延べ利用人数</p> <p>3 1日当たりの平均利用者数</p>			<p>1 9人</p> <p>2 734人</p> <p>3 3人</p>					
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足							
事業費計(千円)①		7,006	11,226	9,886	10,654	(そ)児童発達支援給付費負担金 9,053千円 (そ)諸収入 833千円							
国庫支出金													
県支出金													
起債													
その他		7,006	9,742	9,886	10,141								
一般財源			1,484		513								
人件費計(千円)②		14,304		7,152									
正規職員所要時間		4,000		2,000									
臨時職員所要時間													
総事業費①+②		21,310	11,226	17,038	10,654								
事業内容・目標達成状況の振り返り	時間や単独・様々な行事体験など、受け入れの幅は広がった。個々に対する楽しい経験やリハビリの内容等、要望に応じて充実させてくれた。												
改革改善の考え方	①問題点	障がいの状況が様々な上に利用日数が増加したことで、保護者の職員に対する専門的な指導の要望も高まり、より細やかな支援内容の充実が求められている。また重篤なケースも増えており、医療機関とのスムーズな連携が求められる。											
	②改革提案	個々に対する必要な支援を充分把握し、リハビリや研修会で得た専門的な知識や技術を、園内の生活の場でフルに活かせるような研修の場を確保し繰り返し実践していく。医療機関との連携・相談が必須。											